

その他の設定オプションについて

システム管理者は、特定のボタンおよびソフトキー テンプレート、さらに適用可能な場合には、特殊なサービスや機能を使用するように、Cisco Unified IP Conference Station 7937G を設定することができます。次の表では、いくつかの設定オプションについて概要を示します。コール処理のニーズや作業環境に基づいて、システム管理者と相談するときに役立ちます。

ニーズ	対処	詳細情報の参照先
会議ステーションの回線上でより多くのコールを処理する必要がある	使用中の回線がより多くのコールをサポートできるように、設定の変更をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話サポートチームに相談します。
より多数の短縮ダイヤルエントリが必要である	最初に、すべての短縮ダイヤルエントリが割り当てられていることを確認します。 追加の短縮ダイヤルが必要な場合は、固定短縮ダイヤルまたはファーストダイヤルの使用を検討してください。	P.28 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
複数の電話機で 1 つの内線番号を使用したい	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば、デスク上の電話とラボの電話で 1 つの内線番号を使用できます。	P.32 の「共有回線の使用方法」を参照してください。

ニーズ	対処	詳細情報の参照先
<p>会議ステーションまたはオフィス空間を他の社員と共有する</p>	<p>次の機能を使用することを検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保持および取得します。 • コール ピックアップ：別の電話を呼び出し中のコールに応答します。 • 共有回線：他の社員のコールを表示したり、そのコールに参加したりできます。 • Cisco エクステンション モビリティ：会議ステーション番号とユーザ プロファイルを共有会議ステーションに適用します。 	<p>これらの機能についてはシステム管理者に問い合わせるとともに、次の項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.28) • 共有回線の使用方法 (P.32) • 不審なコールのトレース (P.34) • Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.35)
<p>別の人の代わりに、頻繁にコールに応答したり、コールを処理したりする</p>	<p>システム管理者に、会議ステーションの自動応答機能の設定を依頼します。</p>	<p>P.35 の「自動応答の使用方法」を参照してください。</p>
<p>会議ステーションの番号と設定を共有会議ステーションに一時的に適用する</p>	<p>Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者に問い合わせてください。</p>	<p>P.35 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。</p>